

協同総合研究所 役員名簿

- 【理事長】 杉本 時哉（新任、東京都・全国労働金庫協会）
- 【副理事長】 勝部 欣一（再任、東京都・ユーコープ事業連合）
角瀬 保雄（再任、東京都・法政大学）
小林 基愛（新任、千葉県・日本労働者協同組合センター事業団）
永戸 祐三（新任、埼玉県・日本労働者協同組合連合会）
- 【副理事長、兼務主任研究員】
菅野 正純（新任、東京都・協同総合研究所）
- 【専務理事】 坂林 哲雄（新任、東京都・前日本労働者協同組合センター事業団）
- 【常任理事】 飯島 信吾（再任、東京都・シーアンドシー）
石見 尚（新任、東京都・日本ルネッサンス研究所）
内山 哲朗（新任、埼玉県・工学院大学）
鍛谷 宗孝（新任、東京都・日本労働者協同組合連合会）
滝田 隆夫（新任、神奈川県・前宮崎産業経営大学）
都筑 建（再任、東京都・エコテック）
手島 繁一（再任、東京都・法政大学）
富沢 賢治（再任、東京都・一橋大学）
的場 信樹（新任、京都府・京都府立大学）
- 【理事】 畔上 統雄（再任、東京都・ブランド研究所）
阿部 誠（新任、大分県・大分大学）
荒木 昭夫（新任、日本児童・青少年演劇劇団協議会）
石井 光幸（新任、東京都・パラマウント製靴共働社）
後 房雄（再任、愛知県・名古屋大学）
神田 嘉延（新任、鹿児島県・鹿児島大学）
木下 武男（再任、東京都・法政大学）
金城 恵忠（新任、愛知県・黄柳野高校）
北島 大蔵（新任、東京都・つばさ流通）
塩田 長英（再任、東京都・明海大学）
外谷富二男（再任、埼玉県・城北地域労働組合協議会）
高橋 五郎（再任、宮崎県・宮崎産業経営大学）
田中 夏子（新任、長野県・長野大学）
田村 守保（再任、千葉県・日本労働者協同組合連合会）
千田 忠（再任、青森県・青森県国民教育研究所）
中川雄一郎（再任、東京都・明治大学）
古谷 直道（新任、東京都・日本労働者協同組合連合会）
古村 伸宏（新任、宮城県・日本労働者協同組合センター事業団）
山田 定市（再任、北海道・北海道大学）

- 【監 事】梶 慶一郎（再任、東京都・株第一経理）
 中田宗一郎（再任、埼玉県・日本労働者協同組合センター事業団）
 吉本 貢（新任、東京都・税理士）
- 【顧問】黒川 俊雄（新任、神奈川県・前理事長）
 中西 五洲（新任、三重県・前副理事長）
- 【退任役員】菊池 陽子（理事、埼玉県・生活文化地域協同研究会）
 佐藤 誠（理事、滋賀県・立命館大学）
 橋本 了一（理事、香川県・四国学院大学）
 広瀬 謙一（事務局長、東京都・協同総合研究所）
 柳沢 敏勝（理事、千葉県・明治大学）

※1995年6月24日の第5回総会にて理事選出。理事長、副理事長、専務理事、常任理事は同日の第1回理事会にて選出。任期は1997年度総会まで。

総会発言から

児演協20周年記念事業

「70劇団一挙上演」を協同組合の鏡で映して見れば

荒木 昭夫（日本児童・青少年演劇劇団協議会事務局長）

95年7月20日から16日間の会期で「児演協20周年記念事業95子どもたち未来——児童・青少年演劇フェスティバル70劇団一挙上演」を行います。場所は東京渋谷地域12会場。

1995年は児演協設立20周年。その到達点として印象づける集会を実現し、児童・青少年演劇を広く国民に愛され、我が国の文化的財産として、深く認識される社会的状況を作り出したいと考えたのでした。

日本における児童・青少年演劇の芸術活動は何が課題か。それは①日本子どもたちにとって、その成長発達と人格の陶冶に関して、どのような役割を果たしてきたのか、②今後どんな位置を占めるのか、③その中心的組織であると自負する児演協とは、今何をすべきか、と議論沸騰させながら、全加盟劇団の総意でこの集会の準備を進めて来ました。

実は児演協の10周年の時点では、児童・青少年演劇に関わる諸団体の方々と実行委員会を組ませて戴いて、第1回子どものための舞台芸術大祭典「85・夏・佐渡」を開催しました。その後は87年

の両津七夕子ども祭典、小豆島演劇祭88、89年の吹田演劇祭、そして「91・夏・佐渡」と続いたのでした。

児童・青少年演劇の活動は今日、少しは社会に知られて行くことはなっただけですが、まだまだ国民から認知される「公共の財」とはなり得ていません。

首都圏56劇団、地方21劇団。これらが首都東京に集まって一挙上演することで、児童・青少年演劇の今日の姿を社会に示すことの意義は大きく、児童・青少年演劇が子どもの成長発達にとって、大きな役割を果たすものであることの姿を提示することが第一の目標です。

実はこの集会を作るということは、私たち児童演劇人になにが出来るといふ私たち自分への挑戦でこそあるのです。

私たちはこの20年、社会からの認知を受けたいとして、どういう法人格を持つか、と模索して来ていました。社団法人なのか、協同組合なのか、という訳です。確かに私たちは「協同」と言える行動は十分に積み重ねられて来ていると考えるの